本サンプル問題の無断転載を禁ずる

【日商簿記３級】
出題区分改定に対応したサンプル問題

(2018 年 10 月)

日本商工会議所　事業部

Copyright 2018 The Japan Chamber of Commerce and Industry. All rights reserved.

収載内容

仕訳例Ⅰ 2
仕訳例Ⅱ 6
セット問題Ⅰ 15
　第１問（20 点） 15
　第２問（10 点） 16
　第３問（30 点） 17
　第４問（10 点） 18
　第５問（30 点） 19
答案用紙 20
　第１問 20
　第２問 20
　第３問 21
　第４問 21
　第５問 22
解答 23
　第１問 23
　第２問 23
　第３問 24
　第４問 24
　第５問 25
セット問題Ⅱ 26
　第１問（20 点） 26
　第２問（10 点） 27
　第３問（30 点） 28
　第４問（８点） 29
　第５問（32 点） 30
答案用紙 31
　第１問 31
　第２問 31
　第３問 32
　第４問 32
　第５問 33
解答 34
　第１問 34
　第２問 34
　第３問 35
　第４問 35
　第５問 36

仕訳例Ⅰ

下記の各取引について仕訳しなさい。商品売買の記帳は、特に指示のない限り 3 分法によるものとする。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。また、仕訳が不要な場合は「仕訳なし」と答えること。

※本試験問題では勘定科目群を示すが、本問では省略している。

1. 株式会社明央商事は設立にあたり 1 株当たり￥50,000 で株式を 100 株発行し、出資者より現金を受け取った。発行価額の全額を資本金とする。

【解答】

	仕訳				出題項目
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
1	現金	5,000,000	資本金	5,000,000	第四.1.ア

2. Ａ銀行とＢ信用金庫それぞれに当座預金口座を開設し、現金￥200,000 を預け入れた。ただし、管理のために口座ごとに勘定を設定することとした。

【解答】

	仕訳				出題項目
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
2	当座預金Ａ銀行 当座預金Ｂ信用金庫	200,000 200,000	現金	400,000	第二.1.エ

3. (1) 商品￥150,000 を販売し、代金のうち￥100,000 は信販会社が発行している商品券で受け取り、残額は現金で受け取った。
(2) 上記(1)の商品券をすべて精算し、同額を現金で受け取った。

【解答】

		仕訳				出題項目
		借方科目	金額	貸方科目	金額	
3	(1)	現金 受取商品券	50,000 100,000	売上	150,000	第二.4.カ
	(2)	現金	100,000	受取商品券	100,000	

4. (1) 新規に出店するためにビルの１階部分を１か月当たり￥180,000 にて賃借する契約を結んだ。契約にあたり、敷金（家賃の２か月分）および不動産業者に対する仲介手数料（家賃の１か月分）を、小切手を振り出して支払った。
(2) 上記(1)の契約にもとづき、当月分の家賃を普通預金口座から振り込んで支払った。

【解答】

		仕訳				出題項目
		借方科目	金額	貸方科目	金額	
4	(1)	差入保証金 支払手数料	360,000 180,000	当座預金	540,000	第二.4.キ
	(2)	支払家賃	180,000	普通預金	180,000	

5. (1) 6 月 25 日、今月分の従業員に対する給料￥1,000,000 について、所得税の源泉徴収分￥74,000 および健康保険・厚生年金・雇用保険の社会保険料合計￥93,000 を控除し、各従業員の指定する銀行口座へ当社の普通預金口座から振り込んで支給した。
(2) 7 月 2 日、本年度の雇用保険料￥108,000 を一括して現金で納付した。そのうち従業員負担分は￥36,000（月額相当額￥3,000）であり、残額は会社負担分である。従業員負担分については、4 月から 6 月までの 3 か月分は、給料から毎月月額相当額を差し引いて支給しているが、7 月以降の 9 か月分については、いったん会社が立て替えて支払い、その後の毎月の給料から精算することとしている。
(3) 7 月 25 日、今月分の従業員に対する給料￥1,100,000 を、所得税の源泉徴収分￥77,000 および健康保険・厚生年金の社会保険料合計￥96,000、さらに会社側がいったん立て替えて支払った雇用保険の従業員負担分の月額相当額￥3,000 を控除し、各従業員の指定する銀行口座へ当社の普通預金口座から振り込んで支払った。

【解答】

		仕訳				出題項目
		借方科目	金額	貸方科目	金額	
5	(1)	給料	1,000,000	普通預金 所得税預り金 社会保険料預り金	833,000 74,000 93,000	第二.21
	(2)	法定福利費 社会保険料預り金 従業員立替金	72,000 9,000 27,000	現金	108,000	
	(3)	給料	1,100,000	普通預金 所得税預り金 社会保険料預り金 従業員立替金	924,000 77,000 96,000 3,000	

補足：雇用保険について、実務上は複数の方法が見られ、特に預り金勘定と立替金勘定を厳密に使い分けていないケースもみられる。しかし、試験において様々な処理方法を正答として扱うことは受験生を惑わすことになるため、上記のとおり預り金と立替金を厳密に使い分ける処理を標準の出題とする。

6. 決算にあたり、A 銀行の当座預金口座が当座借越￥87,000 の状態となっているので、適切な勘定に振り替える。ただし、当社は複数の金融機関を利用しており、他の銀行にも当座預金口座を開設しているため、口座ごとに勘定を設定している。なお、当社は当座借越勘定を用いていない。

【解答】

	仕訳				出題項目
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
6	当座預金 A 銀行	87,000	借入金	87,000	第三.3

補足：当座借越勘定が指定されている場合は「当座借越」と仕訳しても良い。

7. (1) 決算にあたり、商品以外の物品の現状を調査したところ、すでに費用処理されているはがき（@￥62）が 200 枚と、82 円切手が 300 枚未使用であることが判明したため、適切な勘定へ振り替える。

(2) 翌期首にあたり、前期末に振り替えた勘定から元の勘定への再振替仕訳を行う。

【解答】

		仕訳				出題項目
		借方科目	金額	貸方科目	金額	
7	(1)	貯蔵品	37,000	通信費	37,000	第三.3
	(2)	通信費	37,000	貯蔵品	37,000	

8. 出張旅費を立て替えて支払っていた従業員Ｅ氏が出張から帰社し、下記の領収書を提示したので、当社の普通預金口座から従業員の指定する普通預金口座へ振り込んで精算した。

No. 1884

領　収　書　　X0 年 6 月 6 日

株式会社日商物産　様

￥　20,900

但し　旅客運賃として

上記金額を正に領収いたしました。

○○旅客鉄道株式会社（公印省略）

××駅発行　取扱者（捺印省略）

【解答】

	仕訳				出題項目
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
8	旅費交通費	20,900	普通預金	20,900	第二.21

9. 当社の専務取締役Ｆ氏に資金を貸し付ける目的で￥5,000,000 の小切手を振り出した。ただし、その重要性を考慮して貸付金勘定ではなく、役員貸付けであることを明示する勘定を用いることとした。なお、貸付期間は６か月、利率は年利４％で利息は元金とともに受け取る条件となっているため、利息は受取時に計上する。

【解答】

	仕訳				出題項目
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
9	役員貸付金	5,000,000	当座預金	5,000,000	商業簿記標準・許容勘定科目表

10. 株式会社明央商事は増資を行うことになり、１株当たり￥60,000 で株式を新たに 100 株発行し、出資者より同社の当座預金口座に払込金が振り込まれた。発行価額の全額を資本金とする。

【解答】

	仕訳				出題項目
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
10	当座預金	6,000,000	資本金	6,000,000	第四.1.イ

仕訳例Ⅱ

次の各証ひょうにもとづいて、株式会社国立府中商事で必要となる仕訳を示しなさい。また、商品売買取引は3分法、得意先負担の送料は売掛金に含み、(1)・(7)・(8)については消費税を税抜方式により処理すること。((1)・(7)・(8)以外は特に消費税の処理を行う必要はない。)

※証ひょうから仕訳を起こす問題は改定前の出題区分表に「証ひょう」が明示されているため現行でも出題可能であるが、学習の便宜のためにサンプル問題を示しておく。出題にあたっては、単独の仕訳の出題（主に第1問)、または複数仕訳の出題（主に第2問または第4問）を想定している。
※本試験問題では勘定科目群を示すが、本問では省略している。また、預金口座の受け払いについて、今回の解答は「普通預金」、「当座預金」勘定を使用している。銀行名等を付した勘定科目とする場合には、問題文で別途指示する。
※本来、取引によって消費税の処理を使い分けることはないが、便宜上、このサンプル問題では(1)・(7)・(8)に限定して消費税の税抜方式の処理を行うものとしている。

(1) 商品を仕入れ、品物とともに次の納品書を受け取り、代金は後日支払うこととした。

納品書

株式会社国立府中商事　御中

八王子食品株式会社

品物	数量	単価	金額
お得カレー（50食入りケース）	20	3,500	￥ 70,000
具だくさんカレー（50食入りケース）	20	12,500	￥250,000
高級カレー（10食入りケース）	15	4,500	￥ 67,500
	消費税		￥ 31,000
	合計		￥418,500

【解答】

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	仕入	387,500	買掛金	418,500
	仮払消費税	31,000		

(2) 事務作業に使用する物品を購入し、品物とともに次の請求書を受け取り、代金は後日支払うこととした。

請求書

株式会社国立府中商事　様

大門商会株式会社

品物	数量	単価	金額
印刷用紙（500 枚入）	5	600	￥ 3,000
プリンターインク・黒	2	10,000	￥20,000
ボールペン（10 本入）	5	500	￥ 2,500
送料	―	―	￥ 1,000
	合計		￥26,500

X8 年 5 月 31 日までに合計額を下記口座へお振込み下さい。

日商銀行東京支店　普通　1234567　ダイモンシヨウカイ（カ

【解答】

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(2)	消耗品費	26,500	未払金	26,500

(3) 事務作業に使用する物品をインターネット注文で購入し、品物とともに次の領収書を受け取った。なお、代金はすでに支払い済みであり、仮払金勘定で処理してある。

領収書

株式会社国立府中商事　様

品物	数量	単価	金額
dy 製デスクトップパソコン	10	330,000	￥3,300,000
配送料	―	―	￥ 10,200
セッティング作業	10	5,400	￥ 54,000
	合計		￥3,364,200

上記の合計額を領収いたしました。

収入印紙
印 1000 円

日本橋電器株式会社

【解答】

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(3)	備品	3,364,200	仮払金	3,364,200

補足：領収書等に関連して、仮に自社が領収書等を発行した場合は収入印紙の貼り付けが必要だが、期中取引の出題にあたっては、収入印紙を使用時ではなく購入時に費用処理する方法のみを予定している。そのため、収入印紙を購入してただちに使用したなどの特殊な指示がない限り、収入印紙の使用に関する仕訳は不要である。

(4) 事務作業に使用する物品を購入し、品物とともに次の請求書を受け取り、代金は後日支払うこととした。

請求書

株式会社国立府中商事　様

株式会社東京電器

品物	数量	単価	金額
印刷用紙（500 枚入）	5	600	￥　3,000
dy 製デスクトップパソコン	1	320,000	￥320,000
	合計		￥323,000

X8 年 5 月 31 日までに合計額を下記口座へお振込み下さい。

日商銀行高崎支店　普通　1122334　カ）トウキヨウデンキ

【解答】

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(4)	消耗品費	3,000	未払金	323,000
	備品	320,000		

(5) 商品を売り上げ、品物とともに次の納品書兼請求書の原本を発送し、代金の全額を掛代金として処理した。また、日野商店への請求額と同額の送料を現金で支払った。

納品書兼請求書（控）

日野商店　御中

株式会社国立府中商事

品物	数量	単価	金額
お得カレー	20	100	￥ 2,000
具だくさんカレー	10	350	￥ 3,500
高級カレー	10	600	￥ 6,000
送料	－	－	￥　550
	合計		￥12,050

X8 年 6 月 29 日までに合計額を下記口座へお振込み下さい。

日商銀行国立支店　当座　1234432　カ）クニタチフチユウシヨウジ

【解答】

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(5)	売掛金	12,050	売上	11,500
			現金	550

(6) 武蔵野商店に対する1か月分の売上（月末締め、翌月20日払い）を集計して次の請求書の原本を発送した。なお、武蔵野商店に対する売上は商品発送時ではなく1か月分をまとめて仕訳を行うこととしているため、適切に処理を行う。

請求書（控）

武蔵野商店　御中

株式会社国立府中商事

品物	数量	単価	金額
お得カレー	300	100	￥ 30,000
具だくさんカレー	250	350	￥ 87,500
高級カレー	100	600	￥ 60,000
	合計		￥177,500

X8年6月20日までに合計額を下記口座へお振込み下さい。

日商銀行国立支店　当座　1234432　カ）クニタチフチユウシヨウジ

【解答】

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(6)	売掛金	177,500	売上	177,500

補足：(2)(4)(5)は品物の受渡しと同時にそのつど請求書のやり取りを行っているケースを想定しているが、企業間で継続的な取引がある場合には、1か月分の取引をまとめて、後日に請求書のやり取りが行われるケースが多い。また、請求書のやり取りは後日でも、仕訳は品物の受渡しにより行う場合（(1)のケース）と、仕訳も1か月分まとめて行う場合がある（管理のため補助簿・業務システムへの記録は取引のつど行われる）。そこで、この(6)では1か月分をまとめて仕訳を行うケースとして示している。1か月分まとめて仕訳を行う場合にはそのことが分かるよう問題文で明示する。

(7) 店頭における1日分の売上の仕訳を行うにあたり、集計結果は次のとおりであった。また、合計額のうち￥3,240はクレジットカード、残りは現金による決済であった。

売上集計表

X8年5月8日

品物	数量	単価	金額
お得カレー	10	100	￥ 1,000
具だくさんカレー	20	350	￥ 7,000
高級カレー	5	600	￥ 3,000
	消費税		￥ 880
	合計		￥11,880

【解答】

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(7)	現金	8,640	売上	11,000
	クレジット売掛金	3,240	仮受消費税	880

(8) 横浜商店株式会社に商品￥1,080,000（消費税￥80,000を含む）を売り渡し、代金として以下のとおり受け取った。

Bank

小切手

支払地
日商銀行横浜支店

￥580,000※

上記の金額をこの小切手と引替に
持参人へお支払いください。
振出日　X8年5月7日

横浜商店株式会社

振出地　神奈川県横浜市　振出人　代表取締役　横浜　太郎　印

約束手形

収入印紙
200円
印

株式会社国立府中商事　殿

￥500,000※

上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形を引替えにお支払いいたします

振出地　神奈川県横浜市○○
振出人　横浜商店株式会社

代表取締役　横浜　太郎　印

支払期日　X8年6月29日
支払地　神奈川県横浜市
支払場所 日商銀行横浜支店

【解答】

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(8)	現金	580,000	売上	1,000,000
	受取手形	500,000	仮受消費税	80,000

(9) 出張から戻った従業員から次の領収書および報告書が提出されるとともに、かねて概算払いしていた￥15,000 との差額を現金で受け取った。なお、1 回￥3,000 以下の電車賃は従業員からの領収書の提出を不要としている。

領収書
運賃￥3,700
上記のとおり領収致しました。
大宮観光交通（株）

領収書
宿泊費 シングル１名 ￥8,500
またのご利用をお待ちしております。
日商イン大宮

旅費交通費等報告書

日商太郎

移動先	手段等	領収書	金額
大宮駅	電車	無	1,020
大宮商店	タクシー	有	3,700
日商イン大宮	宿泊	有	8,500
帰社	電車	無	1,020
	合計		￥14,240

【解答】

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(9)	旅費交通費	14,240	仮払金	15,000
	現金	760		

(10) 事務所の賃借契約を行い、下記の振込依頼書どおりに当社普通預金口座から振り込み、賃借を開始した。仲介手数料は費用として処理すること。

振込依頼書

株式会社国立府中商事　御中

株式会社多摩不動産

ご契約ありがとうございます。以下の金額を下記口座へお振込ください。

内容	金額
仲介手数料	￥ 60,000
敷金	￥480,000
初月賃料	￥120,000
合計	￥660,000

日商銀行大手町支店　当座　4433221　カ）タマフドウサン

【解答】

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(10)	支払手数料	60,000	普通預金	660,000
	差入保証金	480,000		
	支払家賃	120,000		

(11) 以下の納付書にもとづき、当社の普通預金口座から法人税を振り込んだ。

領　収　証　書

科目				
法人税		本　　税	600,000	納期等の区分　X80401　X90331
		○ ○ ○ 税		
		△　△　税		(中間申告)　確定申告
住所	東京都府中市○○	□□税		
		××税		出納印 X8.11.9 日商銀行
氏名	株式会社国立府中商事	合計額	￥600,000	

【解答】

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(11)	仮払法人税等	600,000	普通預金	600,000

(12) 以下の納付書にもとづき、当社の普通預金口座から法人税を振り込んだ。

領　収　証　書

科目				
法人税		本　　税	700,000	納期等の区分　X80401　X90331
		○ ○ ○ 税		
		△　△　税		中間申告　(確定申告)
住所	東京都府中市○○	□□税		
		××税		出納印 X9.5.30 日商銀行
氏名	株式会社国立府中商事	合計額	¥700,000	

【解答】

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(12)	未払法人税等	700,000	普通預金	700,000

(13) 以下の納付書にもとづき、当社の普通預金口座から消費税を振り込んだ。

領　収　証　書

科目				
消費税及び地方消費税	本　　税		200,000	納期等の区分　X80401　X90331
	○○○税			
	△　△　税			中間申告　確定申告
住所	東京都府中市○○	□□税		
		××税		
氏名	株式会社国立府中商事	合計額	￥200,000	

出納印
X9.5.30
日商銀行

【解答】

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(13)	未払消費税	200,000	普通預金	200,000

(14) 取引銀行のインターネットバンキングサービスから当座勘定照合表（入出金明細）を参照したところ、次のとおりであった。そこで、各取引日について必要な仕訳を答えなさい。なお、市ヶ谷商店および四谷商店はそれぞれ当社の商品の取引先であり、この２社との商品売買取引はすべて掛けとしている。また、小切手（No.102）は６月 19 日以前に振り出したものである。

X8 年 7 月 2 日

当座勘定照合表

株式会社国立府中商事　様

日商銀行国立支店

取引日	摘要	お支払金額	お預り金額	取引残高
6.20	融資ご返済	500,000		省略
6.20	融資お利息	4,000		
6.21	お振込　市ヶ谷商店	250,000		
6.21	お振込手数料	200		
6.22	お振込　四谷商店		500,000	
6.25	小切手引落（No.102）	400,000		
6.25	手形引落（No.550）	100,000		

【解答】

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
6.20	借入金 支払利息	500,000 4,000	当座預金	504,000
6.21	買掛金 支払手数料	250,000 200	当座預金	250,200
6.22	当座預金	500,000	売掛金	500,000
6.25	支払手形	100,000	当座預金	100,000

(15) 取引銀行のインターネットバンキングサービスから普通預金口座の入出金明細を参照したところ、次のとおりであった。そこで、各取引日において必要な仕訳を答えなさい。なお、株式会社市ヶ谷食品および四谷ドラッグ株式会社はそれぞれ当社の商品の取引先であり、商品売買取引はすべて掛けとしている。

入出金明細

日付	内容	出金金額	入金金額	取引残高
7.16	ATM 入金		125,000	省略
7.17	振込　カ）イチガ゛ヤシヨクヒン	300,000		
7.18	振込　ヨツヤト゛ラツグ゛（カ		444,500	
7.20	給与振込	942,000		
7.20	振込手数料	1,000		

7 月 18 日の入金は、当店負担の振込手数料￥500 が差し引かれたものである。
7 月 20 日の給与振込額は、所得税の源泉徴収額￥80,000 を差し引いた額である。

【解答】

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
7.16	普通預金	125,000	現金	125,000
7.17	買掛金	300,000	普通預金	300,000
7.18	普通預金 支払手数料	444,500 500	売掛金	445,000
7.20	給料 支払手数料	1,022,000 1,000	普通預金 所得税預り金	943,000 80,000

セット問題Ⅰ

第１問（20 点）

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選び、正確に記入すること。なお、消費税については、指示がある取引についてのみ考慮すること。

現金	普通預金	売掛金	前払金	未収入金		
受取商品券	仮払消費税	備品	買掛金	前受金		
未払金	借入金	未払配当金	仮受消費税	未払消費税		
貸倒引当金	資本金	利益準備金	繰越利益剰余金	売上		
受取利息	仕入	支払手数料	支払利息	貸倒損失		

1. 商品（本体価格￥300,000）を仕入れ、代金は８％の消費税を含めて掛けとした。なお、消費税については、税抜方式で記帳する。
2. 得意先の青森株式会社が倒産し、同社に対する売掛金￥150,000（前期販売分）が回収できなくなったので、貸倒れの処理を行う。なお、貸倒引当金の残高は￥120,000 である。
3. 株主総会で繰越利益剰余金￥1,500,000 の一部を次のとおり処分することが承認された。
   株主配当金：￥200,000
   利益準備金の積立て：￥ 20,000
4. 備品￥700,000 を購入し、代金は来月末に支払うこととした。なお、引取運賃￥8,000 は現金で支払った。
5. 商品￥18,000 を売り上げ、代金のうち￥10,000 は共通商品券で受け取り、残額は現金で受け取った。

第２問（10 点）

日野株式会社のＸ１年５月の取引（一部）は次のとおりである。それぞれの日付の取引が答案用紙に示されたどの補助簿に記入されるか答えなさい。解答にあたっては、該当するすべての補助簿の欄に〇印を付すこと。

4 日　八王子商店から商品を￥500,000 で仕入れ、代金のうち半額は約束手形を振り出し、残額は掛けとした。

15 日　先月に多摩商店から建物￥5,000,000 と土地￥6,000,000 を購入する契約をしていたが、本日その引渡しを受けた。この引渡しにともない、購入代金のうち￥1,100,000 は契約時に仮払金勘定で処理していた手付金を充当し、残額は当座預金口座から振り込んだ。

18 日　かねて荒川商店へ売り上げていた商品￥400,000 について不良品が見つかったため返品を受け、掛代金から差し引くこととした。

25 日　杉並商店から先月受け取った約束手形￥450,000 の支払期日が到来し、同額が当社の普通預金口座へ振り込まれた。

31 日　仕入先青葉商店に対する先月分の掛代金￥330,000 について、小切手を振り出して支払った。

第３問（30 点）

次の［**資料 1**］と［**資料 2**］にもとづいて、答案用紙のＸ８年８月 31 日の残高試算表を作成しなさい。なお、取引銀行とは借越限度額を￥500,000 とする当座借越契約を結んでいる。

［**資料 1**］Ｘ８年７月 31 日の残高試算表

借　方	勘定科目	貸　方
268,000	現金	
251,000	当座預金	
394,000	受取手形	
550,000	売掛金	
233,000	繰越商品	
25,000	前払金	
30,000	仮払金	
1,200,000	建物	
2,700,000	土地	
	支払手形	140,000
	買掛金	280,000
	社会保険料預り金	15,000
	借入金	3,000,000
	貸倒引当金	12,000
	建物減価償却累計額	496,000
	資本金	1,000,000
	繰越利益剰余金	220,000
	売上	4,300,000
2,330,000	仕入	
880,000	給料	
97,500	旅費交通費	
244,000	広告宣伝費	
108,000	水道光熱費	
40,000	通信費	
60,000	法定福利費	
16,000	減価償却費	
14,000	租税公課	
22,500	支払利息	
9,463,000		9,463,000

［**資料 2**］Ｘ８年８月中の取引

2 日　従業員が出張から帰ったため、旅費交通費の精算をし、残額の￥8,400 を現金で受け取った。なお、出張に際して、この従業員には現金￥30,000 を仮払いしていた。

3 日　商品￥125,000 を仕入れ、代金のうち￥25,000 は注文時に支払った手付金と相殺し、残額は掛けとした。

7 日　社会保険料預り金￥15,000（従業員の負担額）について、会社負担額（従業員の負担額と同額とする）を加えて現金で納付した。

8 日　商品￥350,000 を売り上げ、代金は掛けとした。なお、先方負担の発送費￥3,000 を現金で支払い、この金額は掛代金に含めることとした。

10 日　かねて振り出していた約束手形￥70,000 が当座預金口座から決済された。

13 日　売掛金￥160,000 が当座預金口座に振り込まれた。

14 日　商品￥180,000 を仕入れ、約束手形を振り出した。なお、当社負担の引取運賃￥2,000 は現金で支払った。

16 日　商品￥130,000 を売り上げ、当社宛の約束手形を受け取った。

17 日　買掛金￥150,000 を当座預金口座から支払った。

20 日　給料￥230,000 について、従業員負担の社会保険料￥20,000 を差し引いた手取額を、当座預金口座から支払った。

21 日　電話料金￥10,000 と水道光熱費￥21,000 が当座預金口座から引き落とされた。

24 日　借入金にかかる利息￥7,500 が当座預金口座から引き落とされた。

27 日　収入印紙￥3,000 を購入し、現金を支払った。なお、この収入印紙はすぐに使用した。

28 日　商品￥150,000 の注文を受け、手付金として現金￥30,000 を受け取った。

31 日　建物について、当月分の減価償却費￥4,000 を計上した。

第４問（10 点）

下記の［**資料**］にもとづいて、株式会社日商（決算年１回、３月 31 日）の損益勘定、資本金勘定、繰越利益剰余金勘定の（ア）から（オ）に当てはまる金額を記入しなさい。なお、当期はＸ１年４月１日からＸ２年３月 31 日までである。

［**資料**］

1. 総　　売　　上　　高：￥5,100,000
2. 純　　売　　上　　高：￥5,000,000
3. 決算整理前仕入勘定残高：借方 ￥3,600,000
4. 期 首 商 品 棚 卸 高：￥400,000
5. 期 末 商 品 棚 卸 高：￥500,000
6. 売上原価は仕入勘定で算定する。

損　　益

3/31	仕　　入	（　ア　）	3/31	売　　上	（　　）
〃	給　　料	1,200,000	〃	受 取 手 数 料	200,000
〃	貸倒引当金繰入	5,000			
〃	減 価 償 却 費	100,000			
〃	水 道 光 熱 費	120,000			
〃	（　　）	（　イ　）			
		（　　）			（　ウ　）

資　本　金

3/31	次 期 繰 越	（　エ　）	4/1	前 期 繰 越	4,000,000

繰越利益剰余金

3/31	次 期 繰 越	（　オ　）	4/1	前 期 繰 越	30,000
			3/31	（　　）	（　　）
		（　　）			（　　）

第５問（30 点）

次の［**資料 1**］と［**資料 2**］にもとづいて、答案用紙の貸借対照表と損益計算書を完成しなさい。なお、会計期間はＸ７年４月１日からＸ８年３月 31 日までの１年間である。

［**資料 1**］決算整理前残高試算表

借　方	勘定科目	貸　方
275,000	現金	
	当座預金	226,000
571,000	普通預金	
470,000	売掛金	
46,000	仮払法人税等	
141,000	繰越商品	
900,000	建物	
400,000	備品	
940,000	土地	
	買掛金	320,000
	社会保険料預り金	13,000
	貸倒引当金	5,000
	建物減価償却累計額	180,000
	備品減価償却累計額	240,000
	資本金	1,800,000
	繰越利益剰余金	473,000
	売上	3,320,000
	受取手数料	80,000
1,900,000	仕入	
480,000	給料	
292,000	広告宣伝費	
18,000	保険料	
84,000	水道光熱費	
140,000	法定福利費	
6,657,000		6,657,000

［**資料 2**］決算整理事項等

1. 現金の実際有高は￥264,000 であった。帳簿残高との差額のうち￥10,000 については水道光熱費の記入漏れであることが判明したが、残額については原因不明なので、雑損または雑益として計上する。
2. 当座預金勘定の貸方残高全額を借入金勘定に振り替える。なお、取引銀行とは借越限度額を￥1,000,000 とする当座借越契約を結んでいる。
3. 売掛金￥70,000 が普通預金口座に振り込まれていたが、この取引が未記帳であることが判明した。
4. 売掛金の期末残高に対して２％の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
5. 期末商品棚卸高は￥109,000 である。
6. 有形固定資産について、次の要領で定額法により減価償却を行う。
   建物：残存価額ゼロ、耐用年数 30 年
   備品：残存価額ゼロ、耐用年数５年
7. 保険料は全額当期の 11 月１日に向こう１年分を支払ったものであるため、前払分を月割で計上する。
8. 手数料の未収分が￥12,000 ある。
9. 法定福利費の未払分￥13,000 を計上する。
10. 法人税等が￥114,000 と計算されたので、仮払法人税等との差額を未払法人税等として計上する。

答案用紙

第１問

	仕		訳	
	借　方　科　目	金　　額	貸　方　科　目	金　　額
1				
2				
3				
4				
5				

第２問

補助簿 / 日付	当座預金出納帳	商品有高帳	売掛金元帳	買掛金元帳	受取手形記入帳	支払手形記入帳	仕入帳	売上帳	固定資産台帳
4									
15									
18									
25									
31									

第３問

残高試算表

借　　方	勘　定　科　目	貸　　方
	現　　金	
	当　座　預　金	
	受　取　手　形	
	売　　掛　　金	
	繰　越　商　品	
	建　　物	
	土　　地	
	支　払　手　形	
	買　　掛　　金	
	前　　受　　金	
	社会保険料預り金	
	借　　入　　金	
	貸　倒　引　当　金	
	建物減価償却累計額	
	資　　本　　金	
	繰越利益剰余金	
	売　　上	
	仕　　入	
	給　　料	
	旅　費　交　通　費	
	広　告　宣　伝　費	
	水　道　光　熱　費	
	通　　信　　費	
	法　定　福　利　費	
	減　価　償　却　費	
	租　税　公　課	
	支　払　利　息	

第４問

（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）	（オ）

第５問

貸借対照表

X8年3月31日　（単位：円）

現金		( )	買掛金		( )
普通預金		( )	社会保険料預り金		( )
売掛金	( )		借入金		( )
( )	△( )	( )	未払費用		( )
商品		( )	未払法人税等		( )
前払費用		( )	資本金		1,800,000
( ) 収益		( )	繰越利益剰余金		( )
建物	( )				
減価償却累計額	△( )	( )			
備品	( )				
減価償却累計額	△( )	( )			
土地		940,000			
		( )			( )

損益計算書

X7年4月1日からX8年3月31日まで　（単位：円）

売上原価		( )	売上高	3,320,000
給料		480,000	受取手数料	( )
広告宣伝費		292,000		
保険料		( )		
水道光熱費		( )		
法定福利費		( )		
貸倒引当金繰入		( )		
減価償却費		( )		
雑（ ）		( )		
法人税等		114,000		
当期純（ ）		( )		
		( )		( )

解答

第１問

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕入 仮払消費税	300,000 24,000	買掛金	324,000
2	貸倒引当金 貸倒損失	120,000 30,000	売掛金	150,000
3	繰越利益剰余金	220,000	未払配当金 利益準備金	200,000 20,000
4	備品	708,000	未払金 現金	700,000 8,000
5	現金 受取商品券	8,000 10,000	売上	18,000

第２問

補助簿 / 日付	当座預金出納帳	商品有高帳	売掛金元帳	買掛金元帳	受取手形記入帳	支払手形記入帳	仕入帳	売上帳	固定資産台帳
4		○		○		○	○		
15	○								○
18		○	○					○	
25					○				
31	○			○					

第３問

残高試算表

借　　方	勘　定　科　目	貸　　方
268,400	現　　金	
	当　座　預　金	57,500
524,000	受　取　手　形	
743,000	売　　掛　　金	
233,000	繰　越　商　品	
1,200,000	建　　物	
2,700,000	土　　地	
	支　払　手　形	250,000
	買　　掛　　金	230,000
	前　　受　　金	30,000
	社会保険料預り金	20,000
	借　　入　　金	3,000,000
	貸　倒　引　当　金	12,000
	建物減価償却累計額	500,000
	資　　本　　金	1,000,000
	繰越利益剰余金	220,000
	売　　上	4,780,000
2,637,000	仕　　入	
1,110,000	給　　料	
119,100	旅　費　交　通　費	
244,000	広　告　宣　伝　費	
129,000	水　道　光　熱　費	
50,000	通　　信　　費	
75,000	法　定　福　利　費	
20,000	減　価　償　却　費	
17,000	租　税　公　課	
30,000	支　払　利　息	
10,099,500		10,099,500

第４問

（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）	（オ）
3,500,000	275,000	5,200,000	4,000,000	305,000

第５問

貸借対照表

X8年3月31日　（単位：円）

現金		(264,000)	買掛金	(320,000)
普通預金		(641,000)	社会保険料預り金	(13,000)
売掛金	(400,000)		借入金	(226,000)
（貸倒引当金）	△(8,000)	(392,000)	未払費用	(13,000)
商品		(109,000)	未払法人税等	(68,000)
前払費用		(10,500)	資本金	1,800,000
（未収）収益		(12,000)	繰越利益剰余金	(698,500)
建物	(900,000)			
減価償却累計額	△(210,000)	(690,000)		
備品	(400,000)			
減価償却累計額	△(320,000)	(80,000)		
土地		940,000		
		(3,138,500)		(3,138,500)

損益計算書

X7年4月1日からX8年3月31日まで　（単位：円）

売上原価	(1,932,000)	売上高	3,320,000
給料	480,000	受取手数料	(92,000)
広告宣伝費	292,000		
保険料	(7,500)		
水道光熱費	(94,000)		
法定福利費	(153,000)		
貸倒引当金繰入	(3,000)		
減価償却費	(110,000)		
雑（損）	(1,000)		
法人税等	114,000		
当期純（利益）	(225,500)		
	(3,412,000)		(3,412,000)

セット問題Ⅱ

第１問（20 点）

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適当と思われるものを選び、正確に記入すること。

現金	現金過不足	普通預金	売掛金	クレジット売掛金	
立替金	前払金	未収入金	差入保証金	仮払法人税等	
土地	買掛金	未払金	所得税預り金	未払法人税等	
資本金	売上	受取手数料	雑益	支払手数料	
旅費交通費	通信費	租税公課	支払家賃	雑損	

1. 新店舗を賃借し、１か月分の家賃￥200,000、敷金￥400,000 を普通預金口座から振り込んだ。
2. 従業員が出張から戻り、旅費の領収書￥18,500 を受け取った。そこで、同額をこの従業員へ後日支払うこととし、未払金として計上した。
3. 商品￥300,000 をクレジット払いの条件で販売するとともに、信販会社へのクレジット手数料（販売代金の５％）を計上した。
4. 決算日において、借方に計上していた現金過不足 ￥18,000 の原因を改めて調査した結果、通信費￥22,000、受取手数料￥5,000 の記入漏れが判明した。残りの金額は原因が不明であったので、適切に処理を行った。
5. 中間申告を行い、法人税￥700,000、住民税¥200,000 および事業税￥350,000 を現金で納付した。

第２問（10 点）

次の［**資料**］にもとづいて、（ア）から（エ）に入る適切な金額を、（Ａ）には適切な用語を答案用紙に記入しなさい。定額法にもとづき減価償却が行われており、減価償却費は月割計算によって計上する。なお、当社の決算日は毎年３月 31 日である。

［**資料**］　　固　定　資　産　台　帳　　X5 年 3 月 31 日現在

取得年月日	名称等	期末数量	耐用年数	期首(期中取得)取得原価	期首減価償却累計額	差引期首（期中取得）帳簿価額	当期減価償却費
備品							
X1 年 4 月 1 日	備品 A	1	8 年	1,600,000	600,000	1,000,000	200,000
X3 年 11 月 1 日	備品 B	2	6 年	810,000	56,250	753,750	135,000
X4 年 6 月 1 日	備品 C	3	5 年	1,500,000	0	1,500,000	250,000
小計				3,910,000	656,250	3,253,750	585,000

備　　品

日付			摘要	借方	日付			摘要	貸方
X4	4	1	前期繰越	（　ア　）	X5	3	31	次期繰越	（　　）
	6	1	当座預金	（　イ　）					
				（　　）					（　　）

備品減価償却累計額

日付			摘要	借方	日付			摘要	貸方
X5	3	31	次期繰越	（　　）	X4	4	1	前期繰越	（　ウ　）
					X5	3	31	（　Ａ　）	（　エ　）
				（　　）					（　　）

第３問（30 点）

次の(1)合計試算表と(2)諸取引にもとづいて、答案用紙の X1 年５月 31 日の合計残高試算表を作成しなさい。

(1)X1 年 5 月 26 日時点の合計試算表

合計試算表

X1 年５月 26 日

借　方	勘　定　科　目	貸　方
3,500,000	現　　金	2,727,000
5,000,000	当座預金日商銀行	1,700,000
2,000,000	当座預金大門銀行	1,280,000
2,900,000	売　掛　金	2,420,000
1,000,000	電子記録債権	700,000
520,000	繰越商品	
800,000	備　　品	
1,570,000	買　掛　金	1,940,000
380,000	電子記録債務	633,000
13,000	所得税預り金	13,000
	借　入　金	2,000,000
	資　本　金	3,000,000
	繰越利益剰余金	500,000
20,000	売　　上	6,400,000
4,240,000	仕　　入	10,000
900,000	給　　料	
130,000	水道光熱費	
260,000	支払家賃	
90,000	支払利息	
23,323,000		23,323,000

(2)X1 年５月 27 日から 31 日までの諸取引

27 日　掛　仕　入　：茨城商店 ￥80,000

給料支払い　：支給総額 ￥300,000(所得税の源泉徴収額 ￥12,000)差引額を当座預金日商銀行口座から引落し。

買掛金支払い　：群馬商店 ￥130,000。当座預金日商銀行口座から支払い。

28 日　掛　売　上　：千葉商店 ￥220,000

電子記録債権　：千葉商店に対する売掛金 ￥100,000 について、同店の承諾後、電子記録債権の発生。

29 日　掛　売　上　：埼玉商店 ￥150,000

経費支払い　：水道光熱費 ￥32,000。当座預金大門銀行口座から引落し。

30 日　電子記録債務　：茨城商店に対する買掛金 ￥180,000 について、同店の承諾後、電子記録債務の発生。

売掛金回収　：埼玉商店 ￥90,000。当座預金大門銀行口座に入金。

電子記録債権　：回収 ￥200,000。当座預金日商銀行口座に入金。

31 日　経費支払い　：支払利息 ￥10,000。当座預金大門銀行口座から引落し。

電子記録債務　：支払い ￥300,000。当座預金大門銀行口座から引落し。

第４問（８点）

大門家具株式会社と株式会社日野商事は主たる営業活動として家具の販売を行っており、それぞれ商品発送時に売上、商品受取時に仕入を計上している。そこで、以下の証ひょうにもとづき、**問**に答えなさい。なお、大門家具は商品を発送した際に、日野商事へ請求した額と同額の発送費を現金で支払っている。

納品書 兼 請求書

株式会社日野商事　御中

大門家具株式会社

商品	数量	単価	金額
2人掛けソファ	5	120,000	600,000
送料	―	―	25,000
	合計		￥625,000

振込期限：5月31日

振 込 先 ：日商銀行東京支店

普通　5556666　ダイモンカグ（カ

当座勘定照合表（抜粋）

株式会社日野商事　様

多摩銀行日野支店

取引日	摘要	支払金額
5.31	お振込ダイモンカグ(カ	625,000
5.31	お振込手数料	200

問　下記の取引時の仕訳をそれぞれ答えなさい。解答にあたって、勘定科目は次の中から選ぶこと。

現金　普通預金　当座預金　売掛金　買掛金　売上　受取手数料　仕入　支払手数料　発送費

①大門家具が商品を発送した時

②日野商事が商品を受け取った時

③大門家具が代金の振込みを受けた時

④日野商事が代金を振り込んだ時

第５問（32 点）

当社（会計期間はX7 年４月１日からX8 年３月 31 日までの１年間）の(1)決算整理前残高試算表および(2)決算整理事項等にもとづいて、下記の**問**に答えなさい。なお、出題の便宜上、解答に影響しない費用は「その他の費用」に合計額を示している。

(1) 決算整理前残高試算表

借方残高	勘定科目	貸方残高
762,800	現金	
5,847,000	普通預金	
7,570,000	売掛金	
2,687,200	仮払消費税	
4,286,000	繰越商品	
3,600,000	備品	
	買掛金	3,580,000
	仮受消費税	4,160,000
	貸倒引当金	3,000
	借入金	4,000,000
	備品減価償却累計額	240,000
	資本金	4,000,000
	繰越利益剰余金	3,800,000
	売上	52,000,000
27,500,000	仕入	
5,200,000	支払家賃	
390,000	租税公課	
13,940,000	その他の費用	
71,783,000		71,783,000

(2) 決算整理事項等

1. 現金の手許有高は￥765,400 である。なお、帳簿残高との差異の原因は不明であるため、適切に処理する。
2. 売掛金の期末残高に対して２％の貸倒れを見積もる。貸倒引当金の設定は差額補充法による。
3. 期末商品棚卸高は￥4,522,000 である。
4. 備品について、定額法（耐用年数 10 年、残存価額ゼロ）により減価償却を行う。
5. 購入時に費用処理した収入印紙の未使用高が￥50,000 あるため、貯蔵品へ振り替える。
6. 消費税の処理（税抜方式）を行う。
7. (1)の支払家賃の残高は 13 か月分であるため、1 か月分を前払い計上する。
8. 借入金はX7 年 10 月 1 日に期間 1 年、利率年４％、利息は元本返済時に支払う条件で借り入れたものである。当期末までの利息を月割により未払い計上する。
9. 法人税等￥1,600,000 および未払法人税等￥1,600,000 を計上する。

問 1 答案用紙の決算整理後残高試算表を完成しなさい。

問 2 当期純利益または当期純損失の金額を答えなさい。なお、当期純損失の場合は金額の頭に△を付すこと。

答案用紙

第１問

	仕		訳	
	借　方　科　目	金　　額	貸　方　科　目	金　　額
1				
2				
3				
4				
5				

第２問

（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）	（A）

第３問

合計残高試算表

X1 年 5 月 31 日

借方		勘定科目	貸方	
残高	合計		合計	残高
		現金		
		当座預金日商銀行		
		当座預金大門銀行		
		売掛金		
		電子記録債権		
		繰越商品		
		備品		
		買掛金		
		電子記録債務		
		所得税預り金		
		借入金		
		資本金		
		繰越利益剰余金		
		売上		
		仕入		
		給料		
		水道光熱費		
		支払家賃		
		支払利息		

第４問

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

第５問

問１　決算整理後残高試算表

借方残高	勘定科目	貸方残高
	現金	
5,847,000	普通預金	
7,570,000	売掛金	
	繰越商品	
	貯蔵品	
	(　　)家賃	
3,600,000	備品	
	買掛金	3,580,000
	(　　)消費税	
	(　　)利息	
	未払法人税等	
	貸倒引当金	
	借入金	4,000,000
	備品減価償却累計額	
	資本金	4,000,000
	繰越利益剰余金	
	売上	52,000,000
	仕入	
	支払家賃	
	租税公課	
	減価償却費	
	貸倒引当金繰入	
	支払利息	
	雑(　　)	
	法人税等	
13,940,000	その他の費用	

問２　(￥　　)

解答

第１問

	仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	支払家賃 差入保証金	200,000 400,000	普通預金	600,000
2	旅費交通費	18,500	未払金	18,500
3	クレジット売掛金 支払手数料	285,000 15,000	売上	300,000
4	通信費 雑損	22,000 1,000	現金過不足 受取手数料	18,000 5,000
5	仮払法人税等	1,250,000	現金	1,250,000

第２問

（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）	（A）
2,410,000	1,500,000	656,250	585,000	減価償却費

第３問

合計残高試算表

X1 年 5 月 31 日

借方 残高	借方 合計	勘定科目	貸方 合計	貸方 残高
773,000	3,500,000	現金	2,727,000	
3,082,000	5,200,000	当座預金日商銀行	2,118,000	
468,000	2,090,000	当座預金大門銀行	1,622,000	
660,000	3,270,000	売掛金	2,610,000	
200,000	1,100,000	電子記録債権	900,000	
520,000	520,000	繰越商品		
800,000	800,000	備品		
	1,880,000	買掛金	2,020,000	140,000
	680,000	電子記録債務	813,000	133,000
	13,000	所得税預り金	25,000	12,000
		借入金	2,000,000	2,000,000
		資本金	3,000,000	3,000,000
		繰越利益剰余金	500,000	500,000
	20,000	売上	6,770,000	6,750,000
4,310,000	4,320,000	仕入	10,000	
1,200,000	1,200,000	給料		
162,000	162,000	水道光熱費		
260,000	260,000	支払家賃		
100,000	100,000	支払利息		
12,535,000	25,115,000		25,115,000	12,535,000

第４問

	仕訳 借方科目	金額	仕訳 貸方科目	金額
①	売掛金	625,000	売上 現金	600,000 25,000
②	仕入	625,000	買掛金	625,000
③	普通預金	625,000	売掛金	625,000
④	買掛金 支払手数料	625,000 200	当座預金	625,200

第５問

問１　決算整理後残高試算表

借方残高	勘定科目	貸方残高
765,400	現金	
5,847,000	普通預金	
7,570,000	売掛金	
4,522,000	繰越商品	
50,000	貯蔵品	
400,000	（前払）家賃	
3,600,000	備品	
	買掛金	3,580,000
	（未払）消費税	1,472,800
	（未払）利息	80,000
	未払法人税等	1,600,000
	貸倒引当金	151,400
	借入金	4,000,000
	備品減価償却累計額	600,000
	資本金	4,000,000
	繰越利益剰余金	3,800,000
	売上	52,000,000
27,264,000	仕入	
4,800,000	支払家賃	
340,000	租税公課	
360,000	減価償却費	
148,400	貸倒引当金繰入	
80,000	支払利息	
	雑（益）	2,600
1,600,000	法人税等	
13,940,000	その他の費用	
71,286,800		71,286,800

問２　（￥　3,470,200　）